

会 報

No. **127**

令和 7. 1 0. 1

地域の方々と作った図書館「明石市立二見図書館（ふたみん）」の開設

明石市立二見図書館 館長 なかがわ 中川 たろう 太郎

明石市では令和7年4月1日に明石市内で3館目の図書館となる明石市立二見図書館「ふたみん」を開設しました。当館は市内西部の二見地区にあるショッピングセンター「イトーヨーカドー明石店」内に設置しました。場所の関係もあり、ショッピングカートを押しながら本を選ぶ方がいるなど、他2館とは異なる利用者の姿が見られます。

この図書館は、地域の方々の声をいただきながら一緒に作りました。3回のワークショップでは参加された方々から、図書館のレイアウトや欲しい備品、運営のあり方など様々なご意見をいただきました。

例えば、ロフトがあったらいいなといった高校生からの声や、ソファがあればゆったり過ごしやすいといった声など多くのご意見をいただき、これらを反映しながら整備を進めてまいりました。図書館内に設置したロフトでは、小さな子どもたちが楽しそうに階段を駆け上がって、ロフトに寝ころびながら本を読み、それをソファに座りながら眺めつつ、顔見知り同士で雑談する買い物途中の主婦の方々の姿を見ることができま



図書館内ロフト

また、図書館の愛称につきましては、地域の方に愛着を持っていただきたいとの思いから、市で決めてしまうのではなく、二見地域にお住まいの方を対象に募集し、3人の小学生から提案いただきました「ふたみん」という名前に決定しました。

この名前には、「ふたみにできたみんなの図書館」という意味が込められています。この愛称とともに、皆さまに愛され親しんでいただける図書館になればと考えています。

当館は地域の方々が気軽に立ち寄り、本を読み、くつろぎ、好きな場所で好きに過ごし、本を通じた交流が可能な「リビング&ライブラリー」となるような、他2館とは少し違うコンセプトを持った場所になればと考えております。くつろぎ、楽しめる新しい図書館を目指して、これからも地域の方々と一緒に作り、育てていきたいと考えています。

また、当館は指定管理者制度を採用している他2館とは異なり、市の直営館としています。運営を株式会社図書館流通センターに委託し、同社とともに利用者同士の交流が生まれるような様々な取り組みを実施しています。

二見図書館「ふたみん」の主な取り組み

- ☆入口付近に「おしゃべりOK」の案内を表示し、図書館内での音を許容しています。
- ☆利用者が出すお題に対して、他の利用者がコメントする『交流伝言板』を設置。子どもから高齢者まで多くのコメントで盛り上がっています。
- ☆利用者が過去に使っていた参考書を寄贈し、他の利用者がお礼コメントとともに自由に持ち帰られる『参考書寄贈コーナー』を設置しています。
- ☆自身のおススメ本をおススメコメントとともに寄贈し、その本を知っている人や持ち帰った人からもコメントを貰う『おススメ本コーナー』を設置。図書館入口外の「情報発信明石タワー」に多くのコメントが集まっています。
- ☆多世代が交流するボードゲーム大会を定期開催。毎回多くの参加者で賑わっています。



ボードゲーム大会

“あなたの『できる』がふえる”をサポートする多可町図書館

多可町図書館 館長 よりふじ 依藤 けいこ 啓子

生涯学び続けられる生きがいあふれるまちづくりを推進する多可町。その最たる施設として建設された、多可町生涯学習まちづくりプラザ“**Asmile**（あすみる）”内に令和7年4月3日、多可町図書館はリニューアルオープンしました。

あすみるには「明日をみる、明日もスマイル・住民の笑顔のために明日を見据えて学んだり集ったりする居場所になるように」と思いが込められています。周辺には子育てふれあいセンター、健康福祉センター、そして向かいには統合中学校が来年開校する予定で、いわば文教・地域共生ゾーンに位置しています。



敷地面積 7,427 m²、延べ床面積 2,988 m²の一部木造の鉄筋コンクリート造りで、公民館機能と図書館機能を併せもつ複合施設です。図書館部分は閉架書庫を含め 1,058 m²。収蔵可能冊数は約 140,000 冊です。芝生をイメージしたグリーンの絨毯や一部町産材などを使用した木構造は、多可町の自然の要素をふんだんに取り入れた内装となっています。



緑の絨毯・木の構造
が魅力の館内



座席数は 85 席。図書館エリアでの読書はもちろんのこと、建物内であればエリア外でも本を持ち出して閲覧することが可能です。新しい図書館では、蔵書すべてに I C タグを貼付し、自動貸出機やスマホアプリ、読書通帳機など、I C T 技術を活用したサービスを導入し業務の効率化を図っています。

その一方で、図書館が本来持つレファレンスサービスに力を入れ、「あなたの『できる』がふえるあつ『たか』広場」をキャッチフレーズとした「あすみる」の中核施設として、利用者に寄り添い、誰でも気軽に立ち寄ることができる図書館をと考えています。



おはなし会も
開催しています

当館では、手作り絵本講座、夏の読書推進イベント、おはなし会などの様々なイベントに加え、毎月、町内にある小学校各クラス及び学童、子育てふれあいセンターへ団体貸出を配送するなど、子どもに本を届ける活動を続けてきました。その結果、令和7年4月、「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣賞を受賞することができました。このタイミングで賞をいただけたことは、新たなスタートへの大きな励みになりました。

図書館のなかった町に、住民の皆さんの熱い思いにより中町図書館ができてから約 20 年。1 月末に旧館で業務を終える際には、たくさんの方々から温かいコメントと新館への期待のお言葉をいただきました。建物の場所や雰囲気は変わりましたが、〈ひと〉が醸し出す雰囲気は従来のまま大切に、暮らしに役立つ、地元に着目した居心地のよい図書館づくり、そして、みなさんの暮らしをもう一步広げ、新しい世界を見つけるお手伝いができればと考えています。

神河町図書コミュニティ公園

「桜空」オープン

神河町図書コミュニティ公園 みやもと こうへい
宮本 公平

神河町図書コミュニティ公園「桜空（おうぞら）」は令和 7 年 7 月 6 日（日）にオープンしました。

桜空は、国道 312 号線沿い、旧粟賀小学校の跡地にできた施設で、公園と図書コミュニティ施設の複合施設です。公園には大型遊具をはじめインクルーシブ遊具や健康遊具を設置しているほか、1 周 300m と 450m の遊歩道があります。

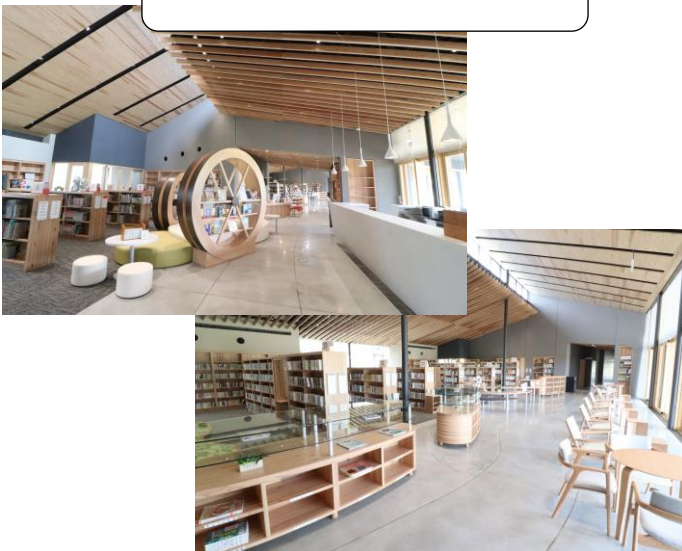
図書コミュニティ施設は、書架など至る所に神河町産の木材を使用し、木の匂いや温かみを感じることができます。入ってすぐに銀の馬車道を通っていた馬車の車輪をイメージしたシンボル書架があります。また併設のカフェコーナーで購入した飲み物を飲みながらの読書もできます。

図書館としては収容蔵書可能冊数が約 25,000 冊ということで、他市町の図書館と比較するとかなり小規模ですが、神河町にはこれまで図書館がなかったので、読書を楽しむ人や自習をする学生など毎日多くの人にお越しいただいています。

当施設は 4 名の職員（内 2 名が司書）が勤務しています。図書館運営の経験がないため、オープンまでに県内のいくつかの図書館へ視察に伺い、たくさんの指導や助言をいただきました。これから図書に関するイベントの開催など、より多くの人に利用していただくための取り組みをしていかななくてはなりません。

地域を担う人々の拠り所とし、日常的に集う「まちのリビング」のように、新しいつながりを創り、まちの魅力発信をし、誰もが思い思いに過ごし、世代を超えて笑顔があふれる施設を目指していきます。

図書施設内の様子



来フゥリ～

これまでを振り返って

豊岡市立図書館・但東分館 もりわき か な
森脇 加奈

この度は、永年勤続表彰をいただきありがとうございます。

図書館に勤務し、気が付けば 19 年。久しぶりに再会した利用者の方から「赤ちゃんの時に読み聞かせをしてもらいました」と高校生の娘さんを紹介され、改めて月日の流れを感じるところです。当初は人見知りですが、「とても読み聞かせなんて」と不安でいっぱいでしたが、本や物語を介せば、不思議と緊張は和らぎました。

また、市内の図書館間で何度か異動を経験する中、各館でたくさんの出会いがありました。本が好きで選んだ仕事ですが、これまでを振り返ると、本への思い以上に、何人かの利用者の方とのやり取りが思い出されます。至らない部分も多かったと思いますが、感謝の言葉をいただく度に、こちらも温かい気持ちになりました。改めて、図書館員は本と人とを繋ぐ仕事なのだと感じます。

これからも職場の諸先輩方や利用者の方々から学ばせていただき、精一杯努めていきたいと思っています。

図書館というご縁をいただいて

豊岡市立図書館・但東分館 ほんたに り え
本谷 理恵

この度は、永年勤続表彰をいただきとても恐縮しています。図書館という素敵な縁や諸先輩方・同僚にめぐまれ、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、全く図書館業務の知識もなく働き始めました。勤務初日、初めて図書館に足を踏み入れ、自分の利用者カードを作り、先輩の指導のもとさっそくカウンターに立ちました。接客が苦手な私は、あまりの緊張のため上手く笑えず、さらに胃痛に襲われながら耐えたあの日が今でも忘れられません。そして、少しずつ業務を覚えていく中で人と接する仕事や図書館のことが好きになり、豊富な知識と情熱を持った先輩方に憧れ、司書資格を取りました。

豊岡市立図書館は、本館・5 分館（城崎・竹野・日高・出石・但東）で運営されています。私は、城崎分館以外の 5 館で勤務させていただきました。同市内の図書館でも、各々特色があり雰囲気異なります。異動の度、新たな発見や気づきを得て、まだまだ自分の勉強不足を実感させられますが、周りの職員や利用者にも助けられ、ここまで勤めることができました。これからも、誠実に日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

協会からのお知らせ

表彰者の紹介（敬称略）

永年精勤 秋山 幸枝（芦屋）
 杉本 美雪（芦屋）
 杉山 聡子（加古川）
 尾崎 純子（宍粟）
 森脇 加奈（豊岡）
 本谷 理恵（豊岡）
 尾田 圭子（豊岡）

令和7年度役員紹介（敬称略）

会 長 野村 孝（県立）
副 会 長 井上 五郎（県立）
 中山 裕介（神戸）
 山田 正人（伊丹）
 城谷 洋（姫路）
理 事 藤野 高司（宝塚）
 中倉 由雅（加古川）
 三木美奈子（いちかわ）
 田中 幸（宍粟）
 藤本 和隆（養父）
 田中真紀子（丹波篠山）
 嶋根 健治（淡路）
 宿南 広樹（労働）
監 事 高木 普子（川西）
 稲月 はな（加古川）

令和7年度予算

（単位：円）

〈一般会計〉

事務局費	115,000
事業費	600,000
事業特別会計費	100,000
全公図分担金	43,000
予備費	36,880

〈兵庫県立図書館託送システムの運営経費一部負担特別会計〉

負担金	500,000
予備費	5,527

令和7年度 地区別研修会（今後の予定）

- 神戸・阪神地区
「広報発信力UP！」
於：神戸市立西図書館／令和8年1月28日（水）
- 東播磨地区
「公共図書館の児童サービスについて ～聞くこと、読むこと、考えること、を支える児童サービスを～」
於：小野市立図書館／10月3日（金）
- 西播磨地区
「データサイエンスから考える図書館サービス」
於：たつの市総合文化会館アクアホール／11月19日（水）
- 但馬・丹波地区
「市民協働の図書館運営」
於：多可町図書館／11月27日（木）
- 淡路地区
「図書館のユニバーサルデザイン」
於：南あわじ市立図書館／11月11日（火）

令和7年度の大会・研究集会（今後の予定）

- 近畿地区公共図書館協議会研究集会
「公共図書館と情報発信（仮）」
於：奈良公園バスターミナル レクチャーホール／12月5日（金）
- 全国公共図書館研究集会（サービス部門／総合・経営部門）
「図書館と書店の共存・共栄」
於：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ他／12月1日（月）・2日（火）
- 第111回全国図書館大会「愛媛大会」
「図書館が 彩る未来 伊予路から」
於：愛媛県県民文化会館（メインホール）他／10月30日（木）・31日（金）
- 文科省・図書館地区別研修（近畿地区）
「図書館を未来につなぐ（仮）」
於：大阪府立中之島図書館／令和8年1月28日（水）～30日（金）

兵庫県図書館協会会報 No.127

令和7年10月1日 発行

編集・発行：兵庫県図書館協会

〒673-8533 明石市明石公園1-27（兵庫県立図書館内）

Tel 078-918-2586 Fax 078-918-2500